

## 事業計画書

① 団体名	一般社団法人クリエイティブシティ高梁推進協議会
② テーマ区分	指定テーマ ( 2 ) ・ 自由テーマ *該当するものを○で囲み指定テーマの場合は番号を記入してください。
③ 事業名	地域ICTクラブによる子どもたちの創造力育成 ～クリエイティブなひと・しごと・まちづくりを目指して～
③ 採択回数等	1回目 *令和2年度に採択され、継続する事業については、いずれかを○で囲んでください。 新制度の適用 ・ 経過措置規定の適用 (補助率4/5以内、上限160万円) (補助率1/2以内、上限100万)
⑤ 事業目的	(1)学校教育と連携して地域の児童・生徒・学生がICT技術でのものづくり体験などのプログラムに積極的に参加し、クリエイティブな創造活動、ものづくりを体験できる「場」としての「地域ICTクラブ」を実現する。 (2)地域ICTクラブの活動とゲームジャム等のイベントを通じて、児童・生徒に、クリエイター、企業人、地域の大学生・若者など多様な人々と交流する機会を提供し、地域社会の中での多様な人々との協働、Society5.0、クリエイティブな力の可能性を実感してもらう。 (3) GIGAスクール等の教育・社会のデジタル化が進む中で、その急激な変化の中で不安を感じる子供たちに関して、学力による能力主義での評価する教育から、ICT技術(道具)を使用した体験を通して、子供たちの創造性を育てる教育、創造性をよりよく成長させる地域の教育環境の創出などによって、子どもたちの健やかな成長、社会づくりに寄与する。
⑥ 現状及び課題	【現状】児童・生徒が1人1台パソコンで学習する「GIGAスクール構想」などに象徴されるように、急速にI情報通信技術(ICT)を活用した教育が進み、更に新型コロナの影響下でビジネスや市民生活等においても劇的な変化が進んでいる。中山間地域にある高梁市でも、そのような状況に対応したICT教育やI情報ネットワーク環境整備に取り組んでいる。 【課題】その変化のプロセスにおいて、小学校でのプログラミング授業などICT教育の深化「知っていること」から「できること」へ、ICTを活用した創造性を育む教育の必要性が指摘され、学校や行政、地域の高等教育、企業、団体などが協働して、そのような教育に取り組む仕組みづくりが課題となっている。更に地域ICTに伴う遠隔教育、遠隔医療、リモートによる会議などSociety5.0に対応するリテラシーの浸透も喫緊の課題となっている。
⑦ 事業内容	総務省の実証事業(H30年度・R1年度)「地域ICTクラブ」をモデルとして、高梁地域の産学官民が協働して、高梁市及び近隣地域の小中学生を主な対象に、高梁市内の公共施設、小中学校、大学等を会場として、ICTを活用した創造性を育てる「場」を提供する組織の立上げと持続的可能な活動にする仕組みづくりを目的とする。地域ICTクラブは、情報通信技術(ICT)を活用した動画編集、ゲーム制作、ものづくりなどの体験教育、多様な人々と交流し遊ぶ中で楽しく学べる「場」へと育てることで、ICT教育の地域での中核組織としての位置づけを目指す。具体的には、以下の事業を実施する。 (1)高梁市地域ICTクラブの立上げ 専門の外部講師を招聘して運営体制、実施場所の選定、環境整備、持続的な活動にするための収入確保策等を検討し組織を立ち上げる。 (2)地域ICTクラブの実施プログラムの検討・開発 地域プロモーションに資する写真・動画編集、情報発信による作品制作体験、レーザーカッター、3Dプリンター等を使用したものづくり体験などのプログラムを実施する。実施後は、参加者アンケート等をも

	<p>とに協働メンバーでそれら进行评估し、次年度以降に向けて改善を図る。</p> <p>(3) <u>地域ICTクラブメンター組織の組成</u> 地域の大学・高校・企業、PTA等などのICT指導者（メンター）の掘り起しと運営スタッフの育成し地域主体の持続的な運営組織を検討する。</p> <p>(4) <u>地域ICTクラブの普及・定着のためのイベント開催</u></p> <p>(5) <u>地域ICTクラブの公式サイトを製作し</u>、オンラインでも活動に参加できるように様々な情報をアップロードする。普段は直接来ることができない子どもたちも活動へ参加できるよう誘導する。</p> <p>(6) <u>オンラインでの事業実施報告会の開催</u> 単なる事業報告に終わらず、地域ICTクラブ関係者、地域の多様な方々に参加を頂き、理解を共有しながら組織活動の向上につながる。</p>																				
⑧天災地変、感染症等で⑦の事業が実施できない場合の対応	<p>事前の計画設計をしっかりと行いオンラインでの実施可能な事業は、オンラインで実施することで対応する。</p> <p>地域ICTクラブの実施プログラムに関しても、オンライン実施を検討しておく。モノづくりに関しては、開催時期、場所を柔軟に変更する準備や少人数多回数開催などの対応を計画しておく。</p>																				
⑨今年度の成果目標と指標	<p>(1) 高梁市内における「地域ICTクラブ」が実現する。</p> <p>(2) 地域ICTクラブの協働体制、メンター組織が組成されている。</p> <p>(3) 「地域ICTクラブ」における創造・ものづくりプログラムの実施及びアンケート等にもとづく評価による品質保証されたプログラムの検討を行う。</p> <p>(4) 地域ICTクラブの活動とゲームジャム等のイベントによって、様々な人との交流の中で、児童・生徒・学生などが成長する機会を提供する。</p> <p>(5) 参加児童・生徒のクリエイティブな意識を醸成・向上する。</p> <p>(6) 地域ICTクラブの活動についての地域内での理解が促進される。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成果目標</th> <th>指標</th> <th>現状(数値)</th> <th>目標(数値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数(のべ数)</td> <td>地域ICTクラブに参加した人数</td> <td>0</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>参加メンター数</td> <td>参加メンター数</td> <td>10</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>資金的な協力を得られる団体数</td> <td>協賛団体数</td> <td>0</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>市内外の協働できる活動団体の数</td> <td>協働締結数</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)	参加者数(のべ数)	地域ICTクラブに参加した人数	0	160	参加メンター数	参加メンター数	10	20	資金的な協力を得られる団体数	協賛団体数	0	10	市内外の協働できる活動団体の数	協働締結数	0	5
成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)																		
参加者数(のべ数)	地域ICTクラブに参加した人数	0	160																		
参加メンター数	参加メンター数	10	20																		
資金的な協力を得られる団体数	協賛団体数	0	10																		
市内外の協働できる活動団体の数	協働締結数	0	5																		
⑩中期(数年)的な目標	<p>(1) 高梁ICTクラブの持続的な発展によって、児童生徒をはじめ地域全体の高梁市のICTリテラシーが向上し、特にクリエイティブ人材の育成拠点としてのクラブの位置づけが獲得できている。</p> <p>(2) メンターの若者や地域ICTクラブで学んだ児童・生徒が育ち、高梁市だけでなく、備中エリア、岡山県域の地域産業との連携が強化され、既存企業の活性化に貢献し、クリエイティブな産業分野で活躍、起業する人材が育成している。</p>																				
⑪長期的な目標	<p>高梁ICTクラブが地域のICT学習・クリエイティブ教育の中核組織となり、クエイティブなひと・しごと・まちづくりが醸成され、人材育成を通してスマートシティ高梁にも貢献している。岡山県の産学官民協働のICT教育のGood Practiceとしてり全国に活動を発信している。</p>																				
⑫翌年度以降の事業展開の予定	<p>R3年度の実績を基にして、地域ICTクラブが持続的に発展するために、ICTクラブが目標とする活動への理解、そのための環境整備、機能の向上、さらに地域の様々なステークホルダーからの支援、活動のための財源確保を出来るような体制の強化を図る。</p>																				
⑬事業実施に関	<p>■2015年から毎年、高梁市役所・吉備国際大学を会場として、2日間でゲ</p>																				

連する活動実績・アピールポイント	<p>ームを制作しその出来栄えを競うイベント「ゲームジャム高梁」を企画運営した。そのイベントには、毎年30名以上のクリエイターおよび若者（大学生・専門学校生など）、児童・生徒たちが参加し高評価を得てきた。</p> <p>■2018年には、NPO法人国際ゲーム開発者協会日本の協力を得て、3Dゲーム開発環境Unityを活用し、複数人が協力してゲームを作る児童・生徒向けの「デジタルからくり装置づくりワークショップ」を開催した（2日間各1回、各回約15名参加）。地域内での協力者や実績からの知見の蓄積など地域ICTクラブにつながる活動の素地を作ってきた。</p>
⑭想定される役割分担	<p>【団体】地域ICTクラブの企画と運営、広報活動、地域ICT教育の中核組織として地域教育機関、行政との連携、位置づけの明確化</p> <p>【県民局】事業費補助、備中地域等での地域ICTクラブ活動の広報、イベントの共催、事業に関する助言（他地域での事例、活動の財源確保策など）</p> <p>【その他】吉備国際大学、岡山県立高梁高校、高梁城南高校、高梁市教育委員会、吉備ケーブルテレビなど地域企業、小中学校PTA等</p> <p>【理由・期待できる相乗効果】</p> <p>県民局との協働によって、高梁市は備中地域の中流域の拠点として、総社市、新見市など交流・関係人口の多い自治体に対して活動の幅を広げ、体験型のICT教育普及を加速することが期待できる。</p>

<記入上の注意事項>

- 1 それぞれの項目についてはできるだけ具体的に記入してください。
- 2 「⑤事業目的」欄は、事業を通じて目指す将来的な姿（社会、経済、生活、環境など）、解決したい地域課題や受益者等を踏まえて記入してください。
- 3 「⑥現状と課題」欄は、理想と現実とのギャップ（問題）、事業実施の要因となる地域課題等について記入してください。根拠となる統計データや当事者ニーズ等があれば、それも示してください。
- 4 「⑦事業内容」欄は、課題解決や事業目的における意味・位置づけとともに対象者、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに分かりやすく記入してください。
- 5 「⑧天災地変、感染症等で⑦の事業が実施できない場合の対応」欄は、代替案の検討、事業縮小、事業中止などの考えを記入してください。
- 6 「⑨今年度の成果目標と指標」欄は、⑤の目的を果たすために今年度事業で目指すところ（短期の成果目標）を具体的に記入し、事業を評価するための指標と、実施前（現状）と実施後（目標）の数値について記入してください。具体的な数値が得られない場合は、目標と指標のみを記入してください。
- 7 「⑩中期(数年)的な目標」欄及び「⑪長期的な目標」欄は、⑤の目的を果たすため、中長期的に目指すところ（中長期の成果目標）について、具体的に記入してください。
- 8 「⑫翌年度以降の事業展開の予定」欄は、「⑩中期(数年)的な目標」及び「⑪長期的な目標」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源等について記入してください。
- 9 「⑬事業実施に関連する活動実績・アピールポイント」欄には、備中地域への波及効果、事業の先進性、先駆性及び独自性に関すること、継続事業における活動実績や成果等について記入してください。
- 10 「⑭想定される役割分担」欄は、協働協定書に基づく提案団体及び備中県民局の役割を記入するとともに、その他関連団体や機関の想定される役割等を記入してください。

## 日 程 計 画 表

年月	事業内容	場所	規模等
R3. 04	・関係者による R3 年度事業内容の最終確認 ・事業協定締結		10 名
R3. 05	・地域 ICT クラブ HP, チラシ等広報資料制作 ・学修支援プラットフォーム仕様確認・製作開始 ・高梁地域 ICT クラブ開設 (独自 HP にて公開) ・参加者募集を行う。チラシを教育委員会等に協力を得て配布。大学・高等等 ICT クラブのメンターの募集し確保する。参加者、関係者リストを作成する。	WEB 上	5 名 500 名 (WEB 視聴)
R3. 06	・メンター指導/マニュアル作成(メンター確保、指導、継続性の確立)・・ 6 月中旬までに	市内公共施設、小中学校、大学施設等	各 10~20 名
R3. 07	・地域 ICT クラブ第 1 回講座を開催(6 月下旬) ・地域 ICT クラブを月 1~2 回で開催(オンライン含む)	クラブ開催後、同場所	延 80 ~ 160 名(最大)
~10	・参加者、保護者、メンターなど関係者に対してアンケートを実施 ・関係者ミーティング会議(プログラム内容、メンターへの評価、有料での料金設定、持続的な組織運営についての検討など)		10 名
R2. 10	・事業中間報告 (備中県民局)		
R2. 10	・事業報告を基に、クリエイティブ教育に対する地域協力者への理解促進活動/高梁市・教育委員会との協議→地域教育政策, 協力金等の活動支援を要請	吉備国際大学国際交流会館等	3 名 5 名
R3. 10		オンライン	
R3. 11	・ICT クラブ主催イベント「クリエイティブフェスティバル高梁 2021 (ゲーム JAM 含む)」※昨年の開催記事添付		150 名 (内、ゲーム JAM30 名)
R3. 12			
~	・オンラインでの地域事業報告会+		
R4. 01	外部講師による講演/オンラインシンポジウム開催		100 名
R4. 02	・報告会成果から次年度事業計画 (案) 作成 ・事業経費の精算		10 名
R4. 03	・アンケート等の実施事業資料の整理 ・持続的な活動にするための協議 (複数回) ・R3 年度事業に関する報告 (案) のまとめ ・県民局との協議 ・関係者による事業実績報告のまとめ 実績報告/事業評価		1 名 10 名 3 名

## &lt; 記入上の注意事項 &gt;

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください (例: ○○市文化センター、△△市内)。不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。